

## 二〇二二年度中学校体育授業 武道必修化について

塚本 光司 議員

**質問** 茨城県内の全232の公立中学校で武道が取り入れられ、全国で必修化を取り入れる以前に数十年前から事実上の必修となつています。全国でもまれに見る先進県です。しかし、必ず安心・安全ではありません。とある県の保健体育科の指導員は「武道にけがはつきもの」と発していました。

そこで、美浦中学校における体育教員の指導・講習と安全面に配慮した対策やこれまでどのように授業をしてこられたのか、また、過去にけがの事例があるか、事故が起きてしまった時の対策マニュアルがあるか、特に柔道についてお伺いします。

**答弁（教育長）** まず、美浦中学校の武道選択については、武道館や武道用具一式が揃っていたため、必修化以前に武道を選択してきた経緯があります。

次に、指導については、有段者の体育教員3人を配置しています。夏休み中の講習受講や生徒の人数に合わせた教員の配分等、また、柔道においては、1年生の立ち技は禁止し、受け身のみです。とにかく、十分な注意と配慮を持って授業を行っております。けがについては、過去3年間に骨折が1件ありました。県の体育授業のモデル集がありますが、美浦中独自の指導マニュアルを早急に作成したいと考えています。

## 村内公共施設のPPSとの 交渉・購入の進捗状況について

**質問** 昨年の東日本大震災以来、各自治体が公共施設の使用する電気に関して、購入先を大手電気会社から他の事業者へ替える動きが加速している中、某大手電気会社からは、来年度からの電気料金17%値上げの趣旨を一方的に通告してきました。

この状況下、美浦村の平成22年度決算時における電気料金が8千万円であることや、平成24年度の学校関連施設への完全冷暖房設備設置等も踏まえ、経費節減のためにも手をこまねいてもいられません。

そこで、昨年来から模索中のPPSとの交渉について、進捗状況をお伺いします。

**答弁（教育次長）** 昨年末、PPSより教育関連施設の電気料金削減についてアプ

ローチがあり、検討を進めています。近隣の稲敷市では、夜間照明付きの3野球場が平成24年1月より、PPSからの受電を行い、年間約300万円の減額を見込んでいます。

**答弁（村長）** PPSについては、役場庁舎と保健センター、幼稚園以外は検討していません。現在、東京ガスと調整しており、6月ぐらいで判断が出るということです。村内の公共施設全てをPPSで賄うのは困難であり、他の方法にも頼らざるを得ません。太陽光発電整備の国庫補助（上限5千万円）を申請し、採択されましたので、昨年、震災で対策本部となった保健センターへ太陽光発電を設置したいと考えています。

**PPSとは？**  
電力会社以外の電気事業に参入した電力供給者を特定規模電気事業者（PPS）といいます。